油圧爪つきジャッキ

取扱説明書

EAGLE™
イーグル

株式会社 今野製作所

http://www.konno-s.co.jp

E-mail: info@konno-s.co.jp

ユーザーの皆様へ

この度は、イーグル印爪つきジャッキを、お買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。ご使用の前に、**必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、**内容および操作方法をよくご理解頂いたうえで、正しくご使用下さるようお願い申し上げます。また、必要と思われる部署や職場には必ず配布し、いつでも参照できるよう、**大切に保管して**下さい。この取扱い説明書にある項目は、危険の程度によって次の 3 段階に区分しています。

⚠ 危険	取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う危険性が高いと考えられる場合。
⚠ 警告	取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性があると考えられる場合。
⚠ 注意	取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負う可能性が考えられる場合、および物的損害のみの発生が考えられる場合。

安全にお使いいただくために

(1) 一般的な注意事項

⚠ 警告

■ 取り扱い説明書を必ずよく読み、よく理解してから使用してください。操作方法は簡単ではありますが、誤った操作をされると、思わぬ事故の危険があります

■ 操作方法を熟知した人以外は、使用しないで下さい。誤った操作方法が原因で思わぬ事故が発生します。

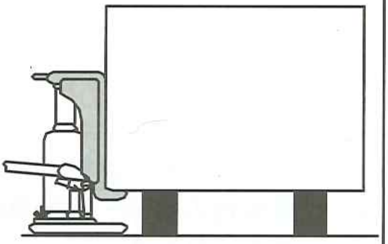
■ 酒気を帯びた人または精神に異常のある人の使用を禁止します。

(2) 爪つきジャッキの警告、注意事項

⚠ 危険

■ ジャッキアップの作業過程においては、手、足等の身体の一部または全身を重量物の下に絶対に入れないで下さい。重量物の落下・横転等の事故による死亡または重傷の危険があります。

■ 重量物をジャッキアップした位置で保持する場合は、安全確保のため安定性のよい適切な保持台で支えて下さい。ジャッキのみによる保持は不安定のため、重量物の落下・横転等の事故による死亡または重傷の危険があります。



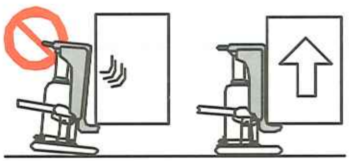
⚠ 危険

■ ジャッキの許容荷重を超えた荷重では絶対に使用しないで下さい。
過負荷のためにジャッキが破損し、重量物の落下・横転等の事故による死亡または重傷の危険があります。

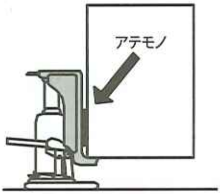
⚠ 警告

■ ジャッキは地盤が平坦で硬いところに安定よく置いてご使用下さい。
傾斜地や軟弱地では使用しないで下さい。
軟弱地や傾斜地ではジャッキが傾きまたは倒れ、重量物の落下・横転事故の危険が考えられます。

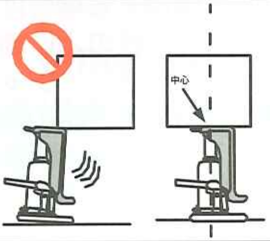
■ 必ず爪部の元まで、垂直に差し込んでご使用下さい。爪の先端で使用すると、重量物が爪から外れたりジャッキが傾斜したりするなどにより、重量物の落下横転事故の危険が考えられます。



■ 爪部と重量物との間に隙間が生じた場合は、必ずアテモノをして下さい。ジャッキが傾斜して、重量物の落下横転事故の危険が考えられます。

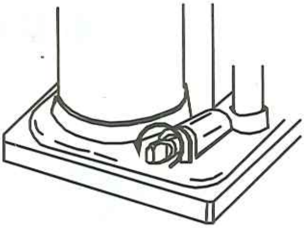


■ 頭部での使用時は必ずラムの中心（ヘッドボルトの位置）に荷重がかかるようにして下さい。荷重が中心から外れるとジャッキが倒れ、重量物の落下・横転事故の危険が考えられます。

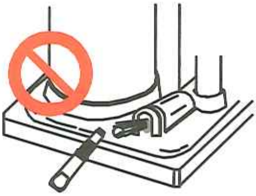


⚠ 警告

■ **ジャッキを下降させるときは、リリーズスクリューを左側 (反時計回り) にゆっくりと慎重に回して下さい。** リリーズスクリューを急激に回すと、爪 (ラム) が急降下し重量物の落下・横転事故の危険が考えられます。

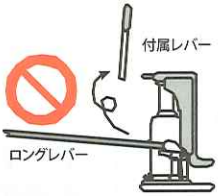


■ **リリーズスクリューは 2 回転以上回さないで下さい。** リリーズスクリューが外れると内部のスチールボール (逆止弁) が飛び出し、故障・事故の原因となります。



⚠ 注意

■ レバーは必ず付属品をご使用下さい。他のレバーや改造したレバー等を使用すると、過荷重によるジャッキの故障、破損につながりやすく危険です。



■ 水中、海水中、泥水中、砂中等の環境では使用しないで下さい。故障の原因となります。

■ ジャッキは外気温度 -10℃～ +55℃の間でご使用下さい。極寒な環境においてはオイルの凍結、パッキンの硬化により、また、高温な環境においてはオイル、パッキンの膨張により、故障する可能性があります

■ レバーを使用しないときはジャッキ本体から抜いて下さい。

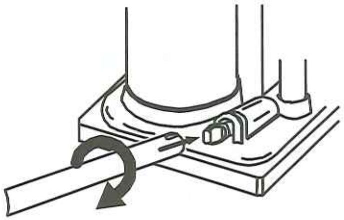
■ ジャッキ本体に貼付してあるシールを故意に剥がしたり、塗料等で塗りつぶしたりしないで下さい。

爪つきジャッキの取り扱い

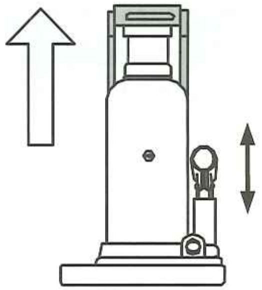
重量物等を持ち上げるとき

■ 重量物へジャッキをかけるときには警告・注意事項（P.3 ～ 5）に述べる項目に注意して適切にセットして下さい。

■ リリーズスクリューに付属レバーの先端を差し込み、右側 (時計回り) に回して、リリーズスクリューをしっかり締めて下さい。(ただし、強く締め付け過ぎると故障の原因になります。)



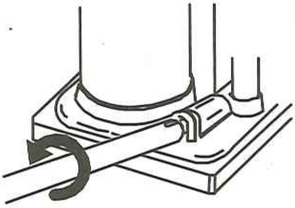
■ 付属レバーをレバーソケットに差し込んで上下動することにより、ポンプを操作して下さい。爪(ラム)が上昇し重量物をジャッキアップします。



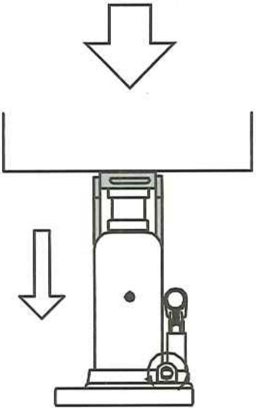
■ (M-500 の場合) ご使用の前に必ず空気抜弁を左に回して開いて下さい。

M-500

(2) 重量物等を下げるとき



■ リリーズスクリューに付属レバーの先端を差し込み、ゆるやかに左側に回して下さい。リリーズバルブが開かれ爪は下降します。
荷重がかかっているときは、爪及びラムは荷重により下降します。

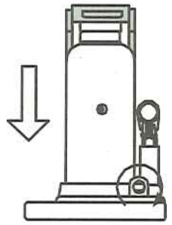


■ ジャッキアップ状態でしばらく保持したあとで下降させるときは、軽く１～２回、ポンプ操作を行ってからリリーズスクリューを回していただくと、リリーズバルブの開閉がスムーズにできます。

■ 荷重がかかってないときは、爪(ラム)は自重では降下しませんので、爪を手または足で押さえるなど適当な荷重を加えて下げて下さい。

(3) 保管するとき

■ 爪を最低位置に納め、リリーズバルブを右に回して閉めた状態で格納して下さい。

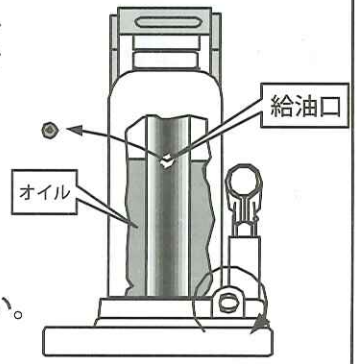


■ (M-500 の場合) 作業終了後、保管するときには必ず空気抜き弁を点検し、弁を右に回して閉じてから格納して下さい

M-500

(4) 給油するとき

■ 給油のときは爪 (ラム) を最低位置にした状態で給油栓 (オイルフィリング) を外し、給油口から給油します。

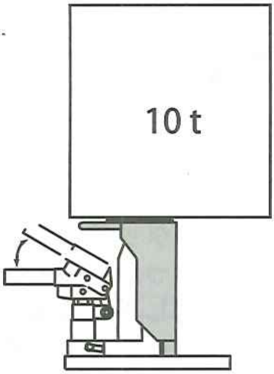


■ オイルは給油口の高さまで入れて下さい。

■ オイルは清浄なスピンドル油、または一般作動油 ISOVG22 ～ 46 をご使用下さい。なお、ブレーキオイル、植物性オイルは絶対に使用しないで下さい。

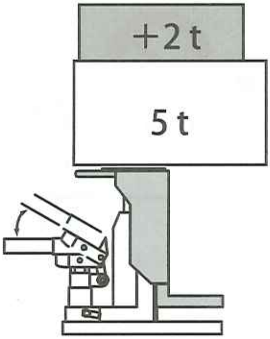
Gシリーズ・GTシリーズの安全弁について

■ 能力以上の重量物をジャッキアップしようとした場合安全弁が働きます。安全弁が働くと、ポンプ操作をおこなってもラムは上昇しません。



頭部許容荷重 5 t

■ ジャッキ作業の途中でも能力がオーバーした場合、安全弁が働きそれ以上ラムは上昇しなくなります。その際ラムは下がるのではなく、その位置で保持されます。



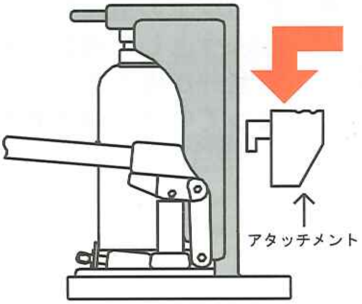
頭部許容荷重 5 t

■ オーバー荷重の状態が回避されると、再びジャッキは上昇作業が可能となります。

■ 安全弁の圧力は頭部能力に合わせて設定されています。安全弁はあくまでもジャッキ内部の損傷を防ぐものであり、爪およびベースの変形を防ぐものではありません。

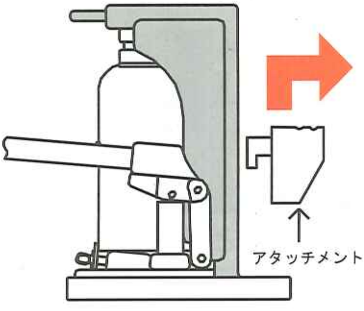
⚠注意

■ アタッチメント爪は取り付け口にしっかり根元まで差込んでから、押し下げるようにして、確実にセットしてください。



■ セットした後、押したり引いたりして確実にセットしたかを再確認して下さい。

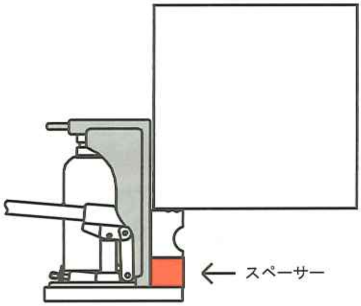
■ アタッチメント爪を取り外す場合は軽く押し上げてから水平に引き抜いて下さい。



■ アタッチメント爪の差込フック部分を変形させたり大きな傷をつけたりしないよう注意してください。

⚠ 危険

■ スペーサーは確実にセットし、許容荷重に耐える物をご使用下さい。



■ スペーサーは、爪上部アタッチメントの間に差し込みかつ、全面で受けるようにご使用下さい。

⚠ 注意

■ スペーサー、アタッチメントに油、ゴミ等が付いている場合は充分に拭き取ってからご使用下さい。

■ スペーサーは荷重に耐えうる適切な材質の物をお客様側で用意してください。

標準分離式（ＭＳ型）爪つきジャッキ

⚠ 危険

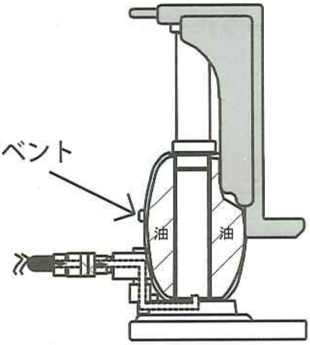
■ 下降時は、ホースが爪部の下に入らないようにご注意下さい。
ホースが破損し、重量物の転倒等、重大事故に繋がります

■ 手動ポンプ専用です。電動ポンプ等では使用できません。
電動ポンプでの使用は構造上、破損・事故につながる危険があります。

⚠ 警告

■ 爪つきジャッキ側に負荷が掛かっている状態でのカプラの取り外しは、絶対に行わないで下さい。

■ 外部ポンプを接続してご使用の際は必ずエアベントを開いてください。
エアベントを閉じたまま使用し、規定量以上の作動油が油タンクに入ると内部圧力が上昇し、油タンクの膨張・破損、またラムシャフトが抜けて人身事故につながるおそれがあります。



（エアベントを閉じたままの状態）

⚠ 注意

■ ジャッキ側カプラとホース側カプラの接続は根元まで確実にセットして下さい。スキマがある場合、下降しない場合があります。

⚠ 注意

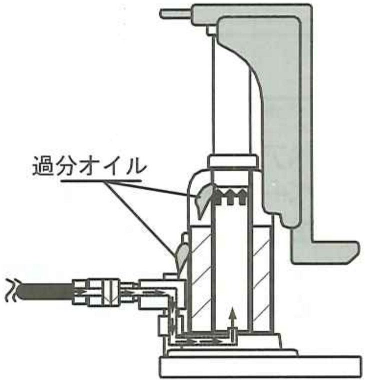
■ 作業終了、保管時はホース接続状態で爪部を手、足にて加圧し、最低位置まで下降後収納して下さい。

■ 負荷が掛かっている場合、スイベル (回転) カプラは動かさないで下さい。

■ ご使用前に必ず、爪つきジャッキの油量点検を行って下さい。
爪部を最低位置にし給油栓の下迄が適量です。
※油が適量以上の場合、エアベントからオイルが漏れ出しますが故障ではありません

■ 外部ポンプを接続して使用する場合、ＭＳ本体のリリーズスクリューを締めた状態にして、必ず外部ポンプのみで上昇下降操作を行ってください。外部ポンプとＭＳ本体を併用で操作するのは止めてください。

■ 外部ポンプを接続して使用する場合、ストロークエンド (最伸長) に達したら、それ以上のポンプ操作はしないで下さい。
外部ポンプから供給された過分なオイルはＭＳ本体のオイルタンクに入り、エアベントからオイルが漏れ出します。



ストロークエンドに達した状態

※ ＭＳシリーズご使用の際は、製品に同梱したMS 使用上の 注意 』を必ずよく読んだ上で作業をしてください。

送り台タイプ爪つきジャッキご使用上の注意

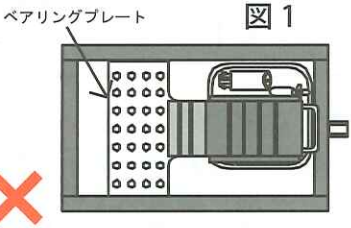
『注意事項』 ベアリングプレートはジャッキの動きと共に移動します。

前進時

■ ベアリングプレートが、図１のように爪部先端位置の前にでた状態のまま前進させますと前方フレームに接触し、プレートの変形につながりスムーズな操作ができなくなる可能性があります。

✕

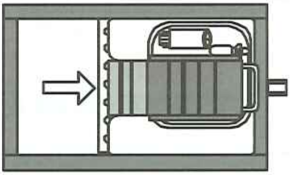
図１



■ 前進時は、図２のようにベアリングプレートをベース後方一杯までさげた状態から操作を開始してください

○

図２

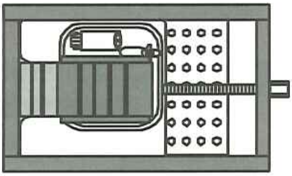


後退時

■ ベアリングプレートが、図３のようにベース最後部より後方にでた状態のまま後退させますと、プレートの変形につながりスムーズな操作ができなくなる可能性があります。

✕

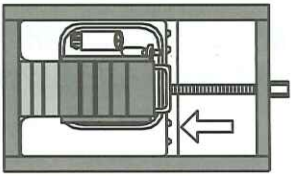
図３



■ 後退時は、図４のようにベアリングプレートをジャッキ前方フレームまで戻した状態にして下さい。（前進時に正しい位置になっていれば後進時は問題ありません。）

○

図４



メンテナンスに関して

- イーグルは、プロフェッショナルユーザー様にお使いいただく道具として、迅速で高品質なアフターサービスに力を入れています
- 重量物を持ち上げるジャッキ・油圧製品は、高圧がかかる機器ですから、点検・修理は負荷試験設備を有する専門サービス工場にご用命ください。
- 修理に関するご相談は、お気軽に当社マーケティングセンター窓口 (P.16) または当社指定のお近くのサービスセンター (P.16) までご連絡ください。

<table>
<tr><th>【症状】</th><th>【原因】</th><th>【対処】</th></tr>
<tr><td>無負荷で操作したときに、上昇しない。(爪がプカプカと浮き沈みする)</td><td>リリーズスクリューの奥にあるスチールボールが紛失している、あるいはリリーズスクューが完全に締まりきっていない。</td><td>・スチールボールの有無の確認。
・リリーズスクリューの増締め。
改善されない場合はお近くのサービスセンターへご相談ください。</td></tr>
<tr><td>爪が最伸長まで上昇しない。</td><td>作動油の不足。</td><td>給油してください。</td></tr>
<tr><td>一定の位置で、そこから上昇しない、あるいは下降しない。</td><td>スライド部あるいはシリンダ内部の変形や損傷。</td><td rowspan="3">お近くのサービスセンターへご相談ください。</td></tr>
<tr><td>荷重をかけた状態で上昇するが、ジワジワと下降してくる。</td><td>リリーズバルブの不具合 / 作動油汚れによる吸込弁のゴミ付着 / ラムのシール不良 / リミット回路の不具合等。</td></tr>
<tr><td>荷重をかけて操作すると、操作ハンドルがジワジワと上方向に戻される、あるいは勢いよく跳ね上がる。</td><td>作動油汚れによる吐出弁のゴミ付着等の不具合。</td></tr>
<tr><td>爪が自然に上昇する。</td><td>空気の吸込み。</td><td>爪を最縮小状態にまで下げて給油栓を横に押し、空気を抜いて下さい。</td></tr>
<tr><td>外部に油がもれる。</td><td>オイルタンク上部リリーズスクリューまたはポンプピストン部のシール不良。</td><td>お近くのサービスセンターへご相談ください。</td></tr>
</table>

上記の処置でも症状が改善されない場合はメーカーまで相談ください。

（株）今野製作所福島工場	〒979-2700	福島県相馬郡新地町北原工業団地 154-5 TEL 0244-62-3470 FAX 0244-62-4263
（株）拓進産業	〒003-0012	北海道札幌市白石区中央二条 5-1-10 TEL 011-811-4421 FAX 011-814-8177
北海自動車工業（株）	〒060-0041	北海道札幌市中央区大通東 4-1 TEL 011-222-2641 FAX 011-222-5661
（株）仙台機器サービス	〒981-3121	宮城県仙台市泉区上谷刈字 1-2-7 TEL 022-373-3757 FAX 022-373-3583
（有）興和商工	〒381-0026	長野県長野市松岡 1-18-40 TEL 0262-21-0022 FAX 0262-21-0111
中村ジャッキ	〒390-1243	長野県松本市神林 3939-1 TEL 0263-26-8863 FAX0 263-26-8873
（有）小林工業所	〒130-0023	東京都墨田区立川 3-17-11 TEL 03-3631-8311 FAX 03-3631-8311
畑機工	〒124-0011	東京都葛飾区四つ木 4-25-5 TEL 03-3697-5977 FAX 03-5698-3133
（株）大阪油圧 関東ｻｰﾋﾞｽｾﾝﾀｰ	〒230-0002	神奈川県横浜市鶴見区江ケ崎町 10-32 TEL 045-570-3830 FAX 045-570-3831
（株）太洋	〒235-0008	神奈川県横浜市磯子区原町 1-21 TEL 045-753-2501 FAX 045-753-2502
北村商事（株）	〒910-0854	福井県福井市御幸 4-7-7 TEL 0776-27-3100 FAX 0776-22-7270
（有）長田機械工業	〒939-1131	富山県高岡市醍醐 1140-2 TEL 0776-63-3354 FAX 0766-63-1302
誠商会	〒453-0054	愛知県名古屋市中村区鳥居西通 1-20 TEL 052-412-3696 FAX 052-412-3696
（株）大阪油圧	〒559-0011	大阪府大阪市住之江区北加賀屋 4-7-9 TEL 06-6682-6511 FAX 06-6682-6515
（有）丸昌 岡山営業所	〒703-8282	岡山県岡山市平井 6-9-6 TEL 086-270-4731 FAX 086-270-4732
（有）坊田機械工業	〒732-0802	広島県広島市南区大州 2-7-2 TEL 082-286-5666 FAX 082-286-5665
（有）丸昌	〒761-8076	香川県高松市多肥上町 2048-8 TEL 087-888-0880 FAX 087-888-0990
サンセイ工機（株）	〒791-8026	愛媛県松山市山西町 964-5 TEL 089-953-2882 FAX 089-953-2885
（有）エアー機器サービス	〒815-0001	福岡県福岡市南区五十川 2-10-18 TEL 092-501-6310 FAX 092-501-6327
（有）電動機器メンテ	〒804-0084	福岡県北九州市戸畑区幸町 9-21 TEL 093-861-2700 FAX 093-861-2705

製造元　株式会社今野製作所

【 本社　東京マーケティングセンター 】
〒123-0873　東京都足立区扇 1-22-4
TEL 03-3890-3406　FAX 03-3856-1740

【 大阪マーケティングセンター 】
〒550-0002 大阪市西区江戸堀 1-23-19-1101
TEL 06-4803-6565　FAX 06-4803-6566

【 福島工場・サービス部 】
〒979-2700 福島県相馬郡新地町北原工業団地 154-5
TEL 0244-62-3470　FAX 0244-62-4263